

# 寺小だより

令和3年度 9月号 NO.7  
富田林市立寺池台小学校  
校長 阪上佐智子  
☎ 0721-29-1477

## 目標や夢をもって

みなさんは、今年の夏をどのように過ごされたでしょうか？緊急事態宣言下にあり、思いっきり夏を楽しむことは難しかったと思われます。私はオリンピックをテレビで観戦しました。開催を手放して喜んだわけではありませんが、選手が自分の限界まで挑む、その一生懸命な姿に何度も心を打たれました。



始業式では、日本初、卓球での金メダルを混合ダブルスで取った、水谷<sup>しゅん</sup>隼選手と伊藤<sup>みま</sup>美誠選手について、子どもたちに話しました。伊藤選手は、2歳から本格的に卓球を始め、「目標をもって日々生活する、私にとってはそれが一番なので、勉強でもスポーツでも、目標をもってやる。頑張ったら結果がついてくる」と語っていました。また、小学生の頃から「20歳で東京五輪の金メダルをとる」と言い続けて、本当に実現させました。水谷選手は夢について、「夢は叶えるためにあるもの。無理なら新しい夢を作ればいい。夢に向かっていく過程で人は成長していくと思っている」と話していました。目標や夢をはっきりと描いて、そこへ向かって努力することで成長する、どちらの選手にも「すごい」の一言です。

私は1月の学校だよりで述べたように、先行きが不安な中でも、子どもたちにも大人のみなさんにも、夢を持って欲しいと願っています。そして自分自身も希望を失わず、夢に向かって努力できる人でありたいと思います。

◎<sup>しかく</sup>四角の中は、<sup>なか</sup>子どもたちも <sup>こ</sup>読みましょ<sup>よ</sup>う。

<sup>どりよく</sup>努力することで <sup>せいちょう</sup>成長しよう！

<sup>がっき</sup>2学期の<sup>もくひょう</sup>目標や<sup>ゆめ</sup>夢を<sup>かんが</sup>考えましょ<sup>う</sup>う。 <sup>ちい</sup>小さな<sup>ゆめ</sup>夢でも、<sup>おお</sup>大きな<sup>ゆめ</sup>夢でもいいです。

<sup>ゆめ</sup>夢は <sup>も</sup>いくつでも <sup>も</sup>持っていいです。 <sup>ゆめ</sup>夢は <sup>か</sup>とちゅうで <sup>か</sup>変えてもいいです。

そして、<sup>ゆめ</sup>夢にむかって <sup>ひと</sup>できることを <sup>ひとつ</sup>一つずつ <sup>や</sup>やりましょ<sup>う</sup>う。

やり続けることで <sup>じぶん</sup>自分が<sup>せいちょう</sup>成長し、<sup>かならず</sup>かならず <sup>ゆめ</sup>夢に<sup>ちか</sup>近づいていきます。